

# よこすか

**Yokosuka  
YPTA**

編集・発行  
横須賀市PTA協議会



## 横須賀市PTA協議会から、保護者の皆様へ重要なお知らせ

神奈川県PTA協議会(以下県PTA)  
『かながわ子どもセーフティプラン24』ご加入の皆様へ

横須賀市PTA協議会(以下市P協)は、令和5年度末をもって、県PTAより退会いたします。その理由は、市P協の財政不足により、このまま県PTAに分担金を納入しつづけることが不可能になったためです。今後は県PTAに支払っていた分担金は、横須賀の学校と子どもたちのために使用していく所存です。(退会については、令和4年度の文書総会にて承認されました)

それに伴い、今まで県PTA会員の皆様を対象に、任意でご加入いただいておりました『かながわ子どもセーフティプラン24』は、県PTA会員向けの制度となるため、今回の制度満期日にて満了となりますことをお知らせいたします。

横須賀市PTA協議会会員の皆様には、来年の1月頃に、『かながわ子どもセーフティプラン24』に替わり市P協が新しく設置する新保険『すかさぬ24子ども総合保障制度』のご案内と共に、ご連絡を差し上げますので、ご確認いただきますようお願い申し上げます。



## i Information

### 応募作品募集!

詳細と応募は  
こちらから



◆市P協では、スマホ・SNSやゲームの啓発活動の一環として、「スマホ・SNS川柳コンテスト」を開催します。

- 応募資格: 横須賀市内小・中・特別支援学校の全児童・生徒  
横須賀市PTA協議会所属の単位PTAのPTA会員(保護者・教職員)
- テーマ: スマホ、インターネット、ゲーム、SNSなどの題材なら何でも。
- 締め切り: 令和6年1月19日(金)

#### ■ 部門と賞品

- |       |       |      |
|-------|-------|------|
| 小学校の部 | 中学校の部 | 一般の部 |
|-------|-------|------|
- 各部門 最優秀賞1名、優秀賞2名賞品として、各部門それぞれ  
最優秀賞は3000円、優秀賞は1000円の図書カードを進呈します。

◆わんぱくフェスティバル2023に参加します。

市P協は、神奈川県警サイバー犯罪捜査課と合同で、子ども向けのサイバーセキュリティクイズのブースで参加します。

■ 日時: 令和5年11月12日(日)  
10:00~14:30

■ 場所: 神奈川県立保健福祉大学  
■ 主催: わんぱくフェスティバル実行委員会



### ◆市教育委員会 生涯学習課よりご案内

●「人権のつどい 2023 in よこすか」12月2日(土)

【場所】ヨコスカ・ベイサイド・ポケット(横須賀芸術劇場)

【オープニング】よこすかのアーティストによる演奏

【1部 式典】人権作文コンテスト表彰式及び優秀作品の朗読

【2部「人権を考える講演会」】講師:三ツ矢 雄二氏(声優)

詳細はこちら



#### ●「人権セミナー」

- 12月1日(金): 「生きづらさを抱える子どもたちの声から考える」
- 12月5日(火): 「現代社会の生きづらさを若者たちの声から考える」
- 12月11日(月): 「認知症の母を12年間介護して」

横須賀市PTA協議会

〒238-0006 横須賀市日の出町3-19-16 横須賀三浦教育会館5F

■ TEL: 046-824-1478 FAX: 046-824-1480

■ Email: office@pta-yokosuka.jp

市P協  
ホームページは  
こちらから



今年の冬は「インフルエンザ」と「新型コロナウイルス感染症」の同時流行が懸念されています。家庭でも、手洗いや換気等の基本的感染対策を頑張りましょう。

# こどもの読解力を育てよう

小学館のサイト「HugKum」で連載されている明治大学文学部 伊藤氏貴教授の『「音読」でわかる「読んでるつもりで読めていない」子どもの危険性！家庭で我が子の読解力テストをやってみて』という記事をご紹介します。本を読むのは好きなのに、国語の成績が上がらない子どもは「読んでいるつもりでも読めていない」からだそうです。



● 読書量と読解力は比例しない。

● 「読解力を育む」という点で大事なのは、多読より精読。

子どもは意味のわからない言葉や文章、読めない漢字を飛ばして読んでいたり、頭の中で絵だけを繋ぎ合わせて、想像力を働かせて自分なりのストーリーを作り上げてしまったりして、なんとなくわかった気になってしまふことがよくあるそうです。それが習慣化してしまうと、いくらたくさん読んでも読解力は伸びないとのことです。

教科書すら読めない（理解できない）、日常の親子や友達とのSNSの文章も理解できずトラブルになる、国語はもとより算数や理科の文章問題も理解できない、など読解力の低さが子ども達の生活や学力に大きく影響を与えます。

家庭での読解力チェック方法や対処方法は、スペースの都合上ここでは紹介しきれないので、興味のある方はぜひ伊藤教授の記事を読んでみてください。

## 報告

### 読書推進講演会『子どもたちにもっと本を読んでもらうために～ビブリオバトルの持つ魅力と可能性～』を開催しました

10月6日(金) 横須賀三浦教育会館で、市P協主催の読書推進講演会を開催し、33名の保護者・学校司書・市立図書館関係者の参加がありました。

朗読講座講師 坂下泉氏の講演では「大人も含め不読率の高い現状の打開には、リアルに人間同士のコミュニケーションが楽しめる『ビブリオバトル』が有効なのではないか」と語られ、その後、ステージ型ビブリオバトルが行われました。バトラーの3名の方には、お好きな本の魅力をたっぷり5分間で語っていただき、3分間のディスカッションタイムには、会場の皆さんとの交流を楽しみました。後半は参加者全員が少人数でミニビブリオバトルを体験。初めは人前で話すことに対する抵抗感のあった方も、実際に始めてみると、自分の好きな本を熱く語るのはとても楽しく、様々な興味深い本に出会うことができ、終了時には皆さん「楽しかった。またやりたい」と目を輝かせていました。

今回の楽しい体験が、多くの学校やご家庭の間にビブリオバトルが広がるきっかけになるよう期待しています。ぜひあなたのご家庭でも！ ビブリオバトル公式サイト <https://www.bibliobattle.jp/>



参加者もミニビブリオバトルを体験

ビブリオバトルとは… バトラーがお気に入りの本を紹介し、参加者は読みたくなった本に投票する、遊び心を取り入れたコミュニケーションゲームです。

## 報告

### 市教委 食育講座 / 市P協 家庭教育講演会 『給食から学ぶ子どもたちの食育』開催しました

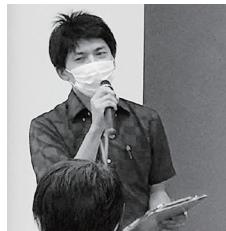
9月1日～11月20日まで、計10回の食育講座が横須賀市給食センターで開催され、延べ180人の保護者の参加がありました。中学校給食がいかに子どもたちの事を考えて作られているか、給食だけでなく、家庭での食事がとても大切なことを学べる場です。来年度も開催しますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。来年度も市P協HPをチェック！

中学校の  
栄養教諭を  
ピックアップ

学校給食センターには3人の栄養教諭がいらっしゃいます。普段は学校給食センターで、献立作成やアレルギー対応、調理場内の巡回、給食指導に関する資料作成など、多岐にわたるお仕事をされています。また、給食時間には、中学校に赴き、食に関する指導を行い、生徒や教職員と交流し、日々の業務に生かしているとのことでした。

食育講座では、給食は自分にとって必要な食事量や栄養素を知り、伝統的な料理や地域や世界の食文化に触れたり、食事マナーなどを学んだりする場であり、教材を作るような気持ちで献立を作っているとのお話をいただきました。

また、子どもが苦手な食材であっても、少しずつでも良いので食べられるようになってほしいとの思いから、味付けなどを工夫しながら献立を考えています、というお話は、すぐにでも参考にしたいと感じました。改めて家庭での食事を見つめなおす、貴重な機会となりました。



家庭での食事が重要  
管理栄養士と栄養教諭の講義を聴く



生徒と同じように配膳体験

食器の配置にも  
意味があることを  
子ども達は学びます。

左: 9/21の給食  
右: 学校に配布されて  
いる盛り付け表



21	味のり△	牛乳
五目 きんぴら	●	かつおの フライ ◇
麦ごはん ★		いももち 汁 △
		はし